

九州間伐紙の普及を通じた林業の活性化等について

～山元還元の開始と普及促進～

「国民が支える森林づくり運動」推進協議会（会長：九州森林管理局長）（以下「協議会」と言います）は、平成18年度から、九州の間伐材を利用して、木材価格の低迷等により元気のない山村や地球温暖化防止への貢献を目指して、紙製品（九州間伐紙）の製造、供給について協議してきました。これまで、ファイル、封筒の製品化、市場への供給を実現しましたが、第3番目の品目として本年4月からコピー用紙を製造し、市場に供給することとなりました。

7月28日（火）に九州森林管理局において開催されました協議会の総会において、九州間伐紙「木になる紙」（コピー用紙）の販売状況に応じて山元（森林所有者）に還元される還元金の仕組み（金額他）や今後の普及促進方策が決まり、今後、本格的な取組（山元還元の開始、普及活動の展開）を開始することとなりました。

1 九州間伐紙「木になる紙」（コピー用紙）のこれまでの取組

(1) 九州間伐紙の調達（販売）状況

本年4月から九州間伐紙「木になる紙」（コピー用紙）が供給されることになったことを受け、協議会として、この紙を使うことにより、ほんの少しの負担で間伐を進め、地球温暖化防止に貢献することを各方面の方々にお知らせし、調達に向けた協力依頼を行ってきました。

7月14日現在で48千箱（納入量14千箱）が供給（販売）されております。この運動にご理解いただき、購入をいただいた者は別紙のとおりです。

(2) 九州間伐紙の調達（販売）状況間伐材の供給状況

佐賀県伊万里市の木材市場が全九州から証明書付きの間伐材を集荷し、同県同市の製材工場においてチップを製造し、船で愛媛県四国中央市の製紙会社に納入しました。今後、その他のルートも順次整備されるものと考えています。

現時点で、九州7県から生産された証明書付き間伐材約2,400m³がコピー用紙の製造に利用されています。今後、同コピー用紙の調達量の増大に応じて、間伐材の供給量も大幅に増大します。

2 今回の協議会での決定事項

今回の協議会総会で、この運動の骨格部分である九州間伐紙（コピー用紙）の販売量に応じて森林所有者に還元される還元金の額等が決定いたしました。

(1) 紙商家からの還元金の拠出

紙商家は、九州間伐紙「木になる紙」（コピー用紙）の販売量に応じ、その製品重量1kg当たり5円（A4サイズ 1箱(2,500枚入)51.25円）を山元に還元します。

(2) 山元への還元額

これまでの九州間伐紙の製造実績を踏まえ、森林所有者に対して、丸太 1m³※1 あたり、背板チップ※2の場合は 1,000 円、原木チップ※3の場合は 2,000 円を還元することとしました。

森林所有者は、九州間伐紙（コピー用紙）の原料として利用された証明書付間伐材丸太の量に応じて還元金を入手します。森林所有者が入手する還元金の額は、森林の蓄積、間伐の強度等によって異なりますが、試算では、1ha の間伐により 25 千円程度を入手できることとなります。また、九州の平均的な林家の場合は間伐可能なスギ林を 4.3ha 所有していますので、この場合は 1 回の間伐で 109 千円程度を入手します。

○九州の平均的な一般林家の試算

間伐可能なスギ林 4.3ha、蓄積 1,823m³、間伐率を 30%とした場合の丸太生産量は 273m³。この内、間伐材チップの原料となるラミナ用丸太はその 4 割、109.2m³。

1,000 円×109.2m³=109,200 円（ha 当たり、25,395 円）。

- ※ 1：1m³とは長さ 4m、小さい方の直径（末口直径と言います）16cm の丸太ほぼ 10 本分に当たります。
- ※ 2：丸太を製材する際に残る側板から製造するチップのことです。
- ※ 3：丸太を直接砕いたチップのことです。

(3) チップの買取価格の上乗せ

間伐材チップの供給促進と間伐材チップの生産・流通における掛かり増し経費への補填を行うことを目的として、製紙会社が間伐材チップを買い入れるに当たって、間伐材チップの絶乾重量 1kg 当たり 2 円（現状の買入価格の約 2 割アップ）を別途上乗せして買っていただくこととしました。これにより、証明書付き間伐材の生産の円滑化が図られるものと考えています。

3 今後の取組

(1) 九州間伐紙の普及促進

本取組は始まったばかりで未だ認知度が低く、調達（販売）が進んでいない状況にあることから、コピー用紙に加え、ファイル、封筒も併せて、今後、協議会メンバーそれぞれが積極的な普及活動を展開することとし、別紙のとおり、行政会員による役割分担も決定いたしました。

また、普及活動にメリハリをつけ、これを効率的、効果的に推進するため、平成 21 年 8 月と 9 月を「間伐紙普及促進重点月間」とし、会員一丸となって普及促進に努力することとしました。

今年度については、10 万箱を目標として普及活動を展開していきたいと考えています。

協議会総会では、来年度以降、調達量を大幅に拡大し、100 万箱程度を目標にしたいとの意見も出されています。（九州の官公需の約半分。この場合のラミナ用丸太約 4 万 m³、山元素材生産量約 10 万 m³、間伐面積約 2 千ヘクタールの事業量となります。）

(2) 還元金の支払い

今後、今回の決定を受け、関係機関で基本的な事項について確認（協定）した後に支払いが開始されるものと考えており、8月には最初に還元金を入手できる森林所有者が出るようにしたいと考えています。

なお、還元の仕組みは「木になる紙」（コピー用紙）の販売に応じて行っていくこととなるため、伐採時期から半年以上かかるものと考えています。

(3) その他の製品の検討

協議会では、色々な紙製品に間伐材が使われることをさらに推進するため、これまでの封筒、ファイル、コピー用紙に加え、その他の製品製造についても検討を進める考えです。



協議会の冒頭であいさつをする津元会長（九州森林管理局長）



協議会の全景

【問い合わせ先】
企画調整室長 高塚
TEL：096-328-3511

「木になる紙」コピー用紙購入者一覧（順不同）

		購入者
公 的 機 関	国	林野庁、東北森林管理局、関東森林管理局、中部森林管理局、近畿中国森林管理局、四国森林管理局 福岡農政事務所、静岡農政事務所 環境省、九州地方環境事務所、四国地方環境事務所 (独)森林総合研究所森林農地整備センター、森林農地整備センター中部整備局
	県	和歌山県庁(森林・林業局)
	市町村	佐賀市役所(全庁、佐賀市立小中学校)
民 間	一般企業	九州電力(株)(松浦火力発電所、熊本支店)、国見山ウインドーファーム 筑豊銀行
	製材・建設関係	協同組合熊本製材 (有)ふじもと、(株)平国野崎建設、(株)小宮建設 ほか20社
	団体	自由民主党熊本県支部連合会 長崎県森林組合連合会、熊本県森林組合連合会、阿蘇森林組合、上球磨森林組合、鹿児島県森林組合連合会 長崎県治山林道協会、長崎建設組合、長崎県林業コンサルタント 長崎林業公社、鹿児島種苗協同組合 鹿児島材木協会、 全国山林種苗協同組合連合会、(財)日本住宅木材技術センター ほか9団体

※平成21年7月20日現在で購入が確認できた企業・団体等のうち、公表の了解を得たもののみ掲載しています。
※随時更新します。

【参考】

協議会メンバー	九州森林管理局 (独)森林総合研究所九州支所、森林農地整備センター九州整備局、佐賀県庁(林務課ほか)、福岡県庁(農林水産部)、宮崎県庁(環境森林部)、鹿児島県庁(林業振興課、森林整備課)
---------	--

九州間伐紙（コピー用紙）の利用のお願い

「国民が支える森林づくり運動」推進協議会（会長：九州森林管理局長）は、間伐材を利用したコピー用紙の製造に向けて取り組んで参りましたが、このたび、21年4月から供給・販売が開始されることとなりました。

九州の間伐材を利用したコピー用紙（古紙70%、間伐材30%（クヰット））を調達することで、地球温暖化防止や山村の活性化に貢献することができます。

昨年5月には九州7県知事と九州森林管理局長が共同宣言を行い、協力して間伐紙の利用を推進することとしてしています。



【宣言文】

- 1 森林整備の促進
- 2 九州材の利用促進
（九州間伐紙の利用推進他）
- 3 森林環境教育の推進
- 4 九州森林の日の創設

- グリーン購入法基本方針が改正され、間伐紙が調達品目として追加されました。商品の環境貢献度を示す総合評価値は86点と高得点になっています。
- 間伐紙を1箱買っていただくことにより、約20m²の間伐や約2.6kgのCO₂吸収に貢献できます。
- 間伐紙は、品質、価格ともこれまでの古紙100%のコピー用紙と遜色ありません。

<製品の問い合わせ先>

- (株) ファイル 滝、中山
TEL092-921-1506
- 新生紙パルプ商事 (株)
九州支店 安岡、町田 TEL092-271-2801
東京本店 金井 TEL03-3259-5080

(*) 協議会メンバー

九州・沖縄8県、九州森林管理局（事務局）、製紙会社、紙流通会社他



九州の森林づくりに関する共同宣言

1 趣旨

九州全土の63%を占める九州の豊かな森林は、木材や特用林産物の生産などを通じ、農山村の振興に寄与するとともに、水源のかん養、国土の保全、地球温暖化の防止、保健休養等の多面的機能の発揮により、県域を越え、各県民の安全で潤いのある生活を支えている。

九州7県では、県民共有の財産である森林を、県民自らが守り育てる取組を進めるため、森林の整備・保全に関する独自課税を導入し、荒廃人工林の整備などに積極的に取り組んでいる。

九州の森林を真に活力あるものとし、その多面的機能を高度に発揮させるためには、「九州はひとつ」の理念のもと、民有林、国有林を問わず、各県が連携・協力し、森林整備の着実な実行、九州産木材（以下、「九州材」という）の利用促進、森林環境教育の推進等になお一層取り組んでいくことが重要である。

このため、九州7県及び九州森林管理局は、豊かな生活環境の実現、森林資源の持続的利用、森林の多面的機能の高度発揮に向けて、以下のとおり九州における「美しい森林づくり」に向けた協力関係を明らかにする。

2 行動方針

(1) 多面的機能の高度発揮のための森林整備の促進

水源のかん養や国土の保全、木材の供給など森林のもつ多面的機能を高度に発揮させるため、間伐や再造林など森林の適切な施業を積極的に推進する。また、京都議定書の森林吸収目標1,300万炭素トンを達成するため、手入れの遅れた人工林の間伐などを積極的に推進し、活力ある森林を育成する。

(2) 九州材の利用促進

再生可能な資源である木材の利用を推進することは、地球温暖化防止や資源循環型社会の形成に資するとともに、森林の適切な整備や地域の活性化に大きく寄与するものである。このため、公共施設や公共事業等に九州材を積極的に活用するとともに、消費者ニーズにあった高品質材の生産を促進するなど、その需要拡大に努めるものとする。

また、資源の循環利用を進めるため、合法木材（合法性が証明された木材）の流通促進に取り組むとともに、九州産間伐材（九州産間伐材を利用した紙）や木質燃料等環境負荷の少ない製品の利用を推進する。さらには、木材生産・流通の効率化や安定供給体制の整備等を通じ、九州から日本林業の再生の実現を目指す。

(3) 森林環境教育の推進

九州の各県民が、森林・林業・木材産業に対する理解と関心を深めるとともに、森林をすべての県民で守り育てる意識の醸成を図るため、広報啓発活動のほか森林環境教育指導者や森林ボランティアの育成、森林・林業体験学習の機会の提供等に関し、相互に連携協力し、森林環境教育を推進する。

(4) 九州森林の日の創設

「九州はひとつ」の理念のもと、九州における「美しい森林づくり」を推進するため、11月の第2日曜日を「九州森林の日」として制定し、都市住民、NPO、ボランティア、企業、漁業関係者等の幅広い参加のもとに、各県民共有の財産として森林を守り育て、未来に引き継ぐための具体的行動を実践する。

平成20年5月22日 ここに宣言する。

福岡県知事

佐賀県知事

長崎県知事

熊本県知事

大分県知事

宮崎県知事

鹿児島県知事

九州森林管理局長

麻生 渡康
古川 保一
金子 保一
蒲 郁夫
広瀬 勝貞
東原 東夫
伊藤 祐一郎
津元 頼光



「木になる紙」づかい宣言

平成21年4月23日

「国民が支える森林づくり運動」推進協議会

地球温暖化の防止に大きく貢献する間伐の推進が強く求められている。

間伐を推進するためには、山側での努力はもちろん、木材の利用に携わる企業、団体等の積極的な取組が期待される。また、これら取組を促進するためには、行政による各種施策に加え、県民、一般企業、団体等の協力が不可欠である。

このため、九州の間伐材が使用されている紙製品の利用を積極的に行政、企業、団体、県民等にうったえるとともに、九州間伐紙の売り上げの一部を間伐推進のために活用する仕組みを構築し、間伐の推進に貢献することとする。

具体的には以下の取組を推進することとする。

- 1 「木になる紙」シリーズの商品の普及を通じて、間伐推進の意義を広く普及啓発する。
- 2 「木になる紙」シリーズの商品の自らの調達を進めるほか、国（出先機関）、市町村、企業、NPO、各種団体などへ積極的な利用を働きかける。
- 3 原料となる間伐材の安定供給を推進するため、関係者が相互に協力する。
- 4 間伐材の利用を推進するため、すでに商品化された「木になる紙」シリーズの商品（ファイル、封筒、コピー用紙）のほかの製品化を進める。
- 5 「木になる紙」シリーズの商品の販売による収益の一部を用い、山元への還元や間伐材の利用促進に係る普及活動を推進する。
- 6 供給に当たっては、「国民が支える森林づくり運動」の趣旨を踏まえ、関係者が信義に則り、協力し、誠実に対応する。

「木になる紙」シリーズ

「木になる紙」とは「国民が支える森林づくり運動」推進協議会（以下「協議会」という）が命名した九州間伐紙の商品シリーズです。

ア 現時点で製品化となっているもの

ファイル
封筒
コピー用紙



ファイル

(株)ファイル 滝、中山
092-921-1506



封筒

(株)山櫻 福岡支店 村田
092-432-3871



コピー用紙

(株)ファイル 滝、中山
092-921-1506
新生紙パルプ商事(株)
九州支店 安岡、町田
092-271-2801

イ 製品の検討を依頼しているもの
名刺

ウ 次なる製品として期待しているもの
印刷用紙
情報用紙

「木になる紙」という名称の商品は協議会の趣旨に賛同し、協議会で定めたルールに基づき製造された商品に使用できるものであり、協議会メンバーとなればどのメーカーにおいても使用可能です。

「国民が支える森林づくり運動」推進協議会会員

行政会員 (13 会員)	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島 県 沖縄県 沖縄総合事務所 独立行政法人森林総合研究所九州支所 独立行政法人森林総合研究所 林木育種センター九州育種場 独立行政 法人森林総合研究所 森林農地整備センター九州整備局 九州森林管理局
企業等会員 (15 会員)	王子製紙(株) 日本製紙(株) 大王製紙(株) 富士ゼロックスエンジニア リング(株) 富士ゼロックス熊本(株) コクヨ S&T (株) コクヨ九州販売 (株) (株)ファイル 新生紙パルプ商事(株) (株)コクシン 菅公工業(株) (株)山櫻 (株)イムラ封筒 東海パルプ(株) 日本紙パルプ商事(株)
賛同企業会員 (2 会員)	RKB 毎日放送(株) 松下生活研究所